

大会派遣 / 研修会参加

JFA FOOTBALL FUTURE PROGRAM 2019 トレセン研修会 U-12

----- 「FFP 2019 報告書」 3級(ユース)審判員：木本 虎太郎 -----

私は8月1日から4日間、静岡県の時之栖でFFPに参加させていただき非常に良い経験をさせていただきました。

今回の審判員のテーマは 『基本の習得』
研修会のテーマは 『自分の現在位置を確認し、目標を持つ』

この2つのテーマで今回の研修を行いました。

研修会の内容についてですが、1日目はレギュレーションの確認をした後、早速試合の割り当てがありました。

1試合を通してインストラクターの方には非常に良い評価を受けました。良かった点は『全体的に良く走れていた、コミュニケーションが取れていた』などといった評価を受けました。改善点は『手の不正行為についてどこまでプレーさせるか』といった判断力の早さをもっと早くとご指導いただきました。

2日目は補助審判として主審のサポートをしました。補助審判をしているときも常に気を配っていなければならないことを教わりました。また、試合終了後にプラクティカルトレーニングを行いました。タッチジャッジの判定の部分でインプレーかアウトオブプレーかをどの角度なら見やすいか自分で考えて移動するトレーニングや、転がしたボールについていきボールが完全にタッチラインから出た瞬間手をたたくといったトレーニングもしました。

次に1対1の状況を右側に1つゴール前に2か所作り全ての位置関係を把握できるポジションを自分で考えて移動し、なんでこの位置を選んだかディスカッションをするトレーニングもしました。最後にDF4人がゴール前でボールを回しFWの選手にくさびのパスを入れ、相手DFとの駆け引きを正しいポジションで監視するといったトレーニングをしました。

3日目は、午前中は、審判員だけで競技規則について理解を深め3つのグループに分かれてディスカッションしました。午後からは各グループごとに分かれて争点を見るためにはどうすればよいか、などをディスカッションしました。

私のグループは、角度をつけることによってより正しい判定ができるという議題で話が進みました。その角度をつけるには広い視野を持ち情報を収集し、予測して動き出すことによって正しいポジショニングから正しい判定に導ける。といった結論が出ました。

4日目は補助審判でしたが、審判をしているとき必ず後ろは死角になっているため攻守の切り替わり時は特に選手の位置関係を把握しておく必要があると教わりました。

最後に今回のFFPで非常に多くのことをまなびました。特に一番大事だと感じたことは『コミュニケーション力』だと思います。初対面の方とチームを組み円滑な運営を行う。しかも他県の方と組むとなると緊張してゲーム前までコミュニケーションが取れませんでした。ゲーム以外のところでもコミュニケーションをとることによって次のゲーム時に、よりスムーズに円滑な運営を行うことができました。当たり前前のことですが、改めてコミュニケーションの重要性を実感しました。

今回学んだことをこれから私生活においても活かし、無駄にしないようにします。
本当に参加させていただきありがとうございました。